

衆議院青少年問題に関する特別委員会ニュース

平成 22.5.20 第 174 回国会第 5 号

5 月 20 日（木）第 5 回の委員会が開かれました。

1 青少年問題に関する件

- ・児童虐待防止問題の実情調査のため、横浜市において視察を行った委員を代表して、池坊委員長から報告を聴取しました。
- ・福島国務大臣（少子化対策担当）、泉内閣府大臣政務官、高井文部科学大臣政務官、山井厚生労働大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

松 浪 健 太君（自民）

- ・一般家庭、父子家庭及び母子家庭で育った子どもと犯罪率の関係はどのような状況にあるのか伺いたい。
- ・結婚制度というのは子どもを安定的に育てるためのしくみの一つであると考えらるべきと考えるが、大臣の見解を伺いたい。
- ・離婚率が上がると子どもは生きにくくなるという認識を共有すべきであると考え。スウェーデンのように個人主義が発達すると家庭が崩壊しやすくなるという負の面を考えるべきであると考えが大臣の見解を伺いたい。
- ・夫婦別姓は子どもの視点から見ると親子別姓である。子どもの視点からの夫婦別姓についての議論が政府内で不足しているのではないかと考えるが、大臣の見解を伺いたい。
- ・同性カップルが特別養子縁組で親子関係を発生させることについて、大臣の見解を伺いたい。

吉 泉 秀 男君（社民）

- ・教育の基盤的条件である奨学金制度について、大臣の認識を伺いたい。
- ・奨学金の返済遅滞者に対して現在どのような回収手だてが行われているのか、具体的に伺いたい。
- ・3ヶ月以上の奨学金返済遅滞者の個人信用情報機関への通報制度を廃止するなど、奨学金制度を改善する余地はあるのか。

小野塚 勝 俊君（民主）

- ・全国で様々に行われている青少年の育成活動について、政府として連携する方策をどのように考えているのか。
- ・全国子ども会安全会の会費及び更新の期日について、文部科学省が指示しているのか。
- ・政治主導の中で、企画立案・各省庁の総合調整を行う内

閣府の大臣として、制度面での良い点及び改善すべき点について見解を伺いたい。

京 野 公 子君（民主）

- ・子ども・若者育成支援推進法において「良好な家庭的環境で生活することが重要」とあるが、「良好な家庭的環境」と聞いて大臣はどのような印象を受けるか。
- ・良好な家庭的環境を実現するためには安定した雇用と所得、一定の面積を持つ住宅等が必要と考えるが、住宅政策・雇用政策を含めた政治的リーダーシップについて、大臣の見解を伺いたい。
- ・フランスの少子化政策を視察して、大臣はどのような印象を持ったか率直にお聞かせ願いたい。

小 林 正 枝君（民主）

- ・慈恵病院の「こうのとりのゆりかご」に、国が積極的に関与することについて政府はどのように考えるか。
- ・児童虐待の加害者側である大人に対するカウンセリングや矯正教育についてどのように考えるか、また専門家の育成について今後の方針を伺いたい。
- ・例えば子どもが児童養護施設に入所しており、親と子どもが分離されている場合にも親に支給されてしまうことなど、子ども手当の今後の課題について、政府の認識を伺いたい。

高 木 美智代君（公明）

- ・「こうのとりのゆりかご」の在り方について、国として検討を進める必要があるのではないかと。
- ・幼保一体化による幼児教育・保育の一体的提供実現に向けての今後のスケジュールを伺いたい。
- ・児童虐待などにより社会的養護を必要とする子どもたちに対する支援を拡充するため、必要な財源を確保する必要

があるのではないか。

宮本岳志君（共産）

- ・子どもからの相談を無料で行っているチャイルドラインの活動に対し、内閣府が積極的に支援する必要があるのではないか。
- ・児童自立支援施設の公設民営化の是非について、大臣の見解を伺いたい。
- ・児童福祉施設最低基準を引上げて、社会的養護を受けている子どもたちに対してきめ細かい支援を行う必要があると考えるが、大臣の見解を伺いたい。